

国際ベイズ分析学会世界大会 (ISBA World Meeting) のご案内

組織委員長： 和合 肇 (京都産業大学)

事務局長： 大森 裕浩 (東京大学)

広報担当： 谷崎 久志 (大阪大学)

International Society for Bayesian Analysis (ISBA, 国際ベイズ分析学会) とは、科学・産業・行政など各方面での理論的課題および実務的課題に有用であるベイズ統計学の理論的研究とその応用を推進するために設立された国際学会です。1993年に第1回世界大会がアメリカで開催されて以来、定期的に ISBA 世界大会 (ISBA World Meeting) が世界各国で開催されてきました。来年 2012年6月にアジアで初めて国際ベイズ分析学会世界大会が京都で開催されることになっています。2012年世界大会 Website (<http://www2.e.u-tokyo.ac.jp/~isba2012>) で情報を随時更新していますが、概要は下記のとおりです。

現在、ポスター・セッションの募集中です。奮ってご応募下さい。

【大会名称】 国際ベイズ分析学会世界大会 2012 (ISBA World Meeting 2012)

・2012年世界大会 Website :

<http://www2.e.u-tokyo.ac.jp/~isba2012>

・ISBA 学会 Website :

<http://www.bayesian.org>

【日時】 2012年6月25日(月)～29日(金)

【場所】

京都テルサ : <http://www.kyoto-terrsa.or.jp>

【日程】

・ポスター・セッション募集終了 :

2012年2月28日

・早期参加登録終了 : **2012年3月8日**

・通常参加登録終了 : **2012年5月24日**

・オンサイト参加 (当日参加) :

2012年6月25日～29日

【協賛】 応用統計学会, 日本計算機統計学会, 日本計量生物学会, 日本行動計量学会, 日本テスト学会, 日本統計

学会, 日本分類学会, 日本マーケティング・サイエンス学会

【後援】 日本学術会議, 内閣府経済社会総合研究所, 日本銀行金融研究所

【参加費 (ISBA 会員・協賛学会会員の場合)】

・早期参加登録 : 38,000 円 (学生 : 28,000 円)

・通常参加登録 : 43,000 円 (学生 : 33,000 円)

・オンサイト参加 : 未定

・法人参加登録 :

3名まで 120,000 円, 5名まで 200,000 円

(*) ただし, チュートリアル・セッション参加費とパンケット代は別料金です。

【開催趣旨】

ベイズ統計学およびベイズ分析といった分析手法については未だ広く認知された分析手法とは言い難い状況ですが, 近年その注目度は非常に高く, 『ベイズ』という言葉に冠した日本語による入門的なビジネス書及び数学書の出版は 10 冊を超える勢いです。このように急速にその重要性が認識される様になったベイズ分析に関する, 最先端かつ国際的な世界大会をわが国で開催できることは, 国際的な研究水準の向上はもちろん, わが国の医学・薬学, 環境問題, 金融やビジネスの実務などの実務家にとっても, 非常に有益な会議となること予想されます。ベイズ統計学およびベイズ分析といった分析手法は, その応用範囲が広く, 医学・薬学, 環境問題の分析, 金融 (ファイナンス) 実務, マーケティング実務などの国内外の幅広い研究者や実務家から注目されている研究分野です。このような研究分野の国際大会をわが国で開催できることは, 国内に対しては, 大学院生を含む研究者及び実務家に対して, その国際的な研究水準を紹介するとともに, その分析手法の有効性について広く周知することができます。また対外的には, 世界各国より最先端の研究者が一堂に会することにより,

国際的な研究水準の周知はもちろんであるが、最先端の研究交流、国際的な共同研究の端緒となることも充分期待できます。さらに、大学院生を含む若手研究者の育成に関しては、またと無い機会であり、今後の我が国におけるベイズ分析の発展が大いに期待できます。

2012年6月22, 23日に統計数理研究所にて。

【セッションの種類と内容（講演者、講演タイトル等）】

(1) チュートリアル・セッション (The ISBA Lectures on Bayesian Foundations, 4件) :

・Donald A. Berry (University of Texas MD Anderson Cancer Center, USA), “Slowly but Surely, Bayesian Ideas Revolutionize Medical Research”

・Christian P. Robert (University of Paris Dauphine, France), “Approximate Bayesian Computation (ABC): Advances and questions”

・Aad W. van der Vaart (VU University Amsterdam, Netherlands), “Some frequentist results on nonparametric Bayesian analysis”

・Mike West (Duke University, USA), “Bayesian Dynamic Modeling”

(2) 招待講演 (Keynote Lectures, 5件) :

・Arnaud Doucet (University of British Columbia, Canada), “Bayesian Inference with Intractable Likelihood Functions”

・Alan Gelfand (Duke University, USA), “Demographic Analysis of Forest Dynamics using Stochastic Integral Projection Models”

・Tomoyuki Higuchi (Institute of Statistical Mathematics, Japan), “Data assimilation and sequential Bayes filters: Information fusion with numerical simulation”

・Chris C. Holmes (University of Oxford, UK), “Bayesian methods in cancer genomics”

・Stephen G. Walker (University of Kent, UK), “Advances in Bayesian nonparametric regression and time series”

(3) その他 :

・招待セッション (Invited Sessions, 20件) :

上記の2012年世界大会 Website 参照のこと。

・特別セッション (Special Topic Sessions, 34件) :

上記の2012年世界大会 Website 参照のこと。

・サテライト・ミーティング :